

青山学院大学 男子ラクロス部

「イーグルス」命名記念・壮行礼拝

2019年9月8日(日) 11:00

青山学院 チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂

司式 大学宗教部長 塩谷 直也
奏楽 大学オルガニスト 作井清雅

●前奏

●讃美歌 21・208 「主なる神よ、夜は去りぬ」

- | | | |
|--|---|--|
| 1. 主なる神よ、夜は去りぬ。
起きよいざ 主のみ前に、
賛美の声と 祈りのことば
ささげ歌わん。 | 2. 全能の神、力の主よ。
罪ととが すべてを除き、
神の家に 住まうひとり
ならせたまえ。 | 3. 父とみ子と 聖霊の神、
みすくいは尊きかな。
み名の栄え照りかがやきて |
|--|---|--|

●交読文 イザヤ書 40章 27～31節

司式) あなたは知らないのか、聞いたことはないのか。

主は、とこしえにいます神

会衆) 地の果てに及ぶすべてのものの造り主。倦むことなく、疲れることなく

その英知は究めがたい。

司式) 疲れた者に力を与え

会衆) 勢いを失っているものに大きな力を与えられる。

司式) 若者も倦み、疲れ、勇士もつまずき倒れようが

会衆) 主に望みをおく人は新たな力を得 驚のように翼を張って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

●聖書 創世記 32章 25～29節

ヤコブは独り後に残った。そのとき、何者かが夜明けまでヤコブと格闘した。ところが、その人はヤコブに勝てないとみて、ヤコブの腿の関節を打ったので、格闘をしているうちに腿の関節がはずれた。「もう去らせてくれ。夜が明けてしまうから」とその人は言ったが、ヤコブは答えた。「いいえ、祝福して下さるまでは離しません。」「お前の名は何というのか」とその人が尋ね、「ヤコブです」と答えると、その人は言った。「お前の名はもうヤコブではなく、これからはイスラエルと呼ばれる。お前は神と人と戦って勝ったからだ。」

●説教 “They will RISE UP AS AN EAGLE in the sky!”

●祈り

●式辞 ヘッドコーチ 関口智久

●主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名を
あがめさせたまえ。
み国を来たせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、
今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、
我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

神様を親しみを込めて「父」と呼びます。
「み名」とは神ご自身のことです。
人のはかない名声ではなく、神様をこそあがめます。
神様の愛が支配する国が来ますように。
私たちの小さな願いではなく、
神様の広い心が地上で形となるように。
日々の生活に必要なものが
世界中の人々に与えられるように。
私たちのあやまちを
ゆるしてください。
私たちも私たちが傷つけた人をゆるします。
「こころみ」とは悪へ導く誘惑のこと。
誘惑に弱い私たちを神様が守ってくださるように。
すべての栄光を神様に
お返しできますように。
ほんとうにそのようになりますように。

●讃美歌 21・17 「聖なる主の美しさと」

1

聖なる主の美しさと
その栄えを仰いで、
まごころもて み前に立ち
み名をたたえ、あがめよう。

2

重荷すべて
主が代わって負ってくださる うれしさ。
悩み多い 世の旅路も
みちびく 主のみ恵み。

3

心つくし 主に仕えよう。
とるに足らぬ 私の愛
のわざも、身も心も
主は受け入れ、よろこぶ。

4

闇をかえて 光とする
主の恵みの尊さ
望みは湧き、おそれは消え、
胸に満ちるよろこび

●祝祷

●後奏